

# 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に関する 区の実施について

# ●大会777日前記念イベント ～新宿から世界へ～ベストをめざして夢・チャレンジ!

【日時】平成30年6月9日(土)【会場】愛日小学校(北町26)、牛込筆筈区民ホール(筆筈町15)【来場者】2,700名

▶第一会場の愛日小学校では、オリンピックやアスリートによるスポーツ体験教室(サッカー、走り方)のほか、サイバーボッチャ体験などを行いました。

▶また、オープニングの際にアスリートたちをエスコートする「エスコートキッズ体験」や、新聞記者になりきってアスリートに取材を行う「プレスキッズ体験」、アスリートのお世話をする「アテンド体験」など、スポーツだけでなく、多様な体験コーナーを展開しました。



ジュニアサッカー教室

快晴の空の下で参加者は元気に体を動かしていました

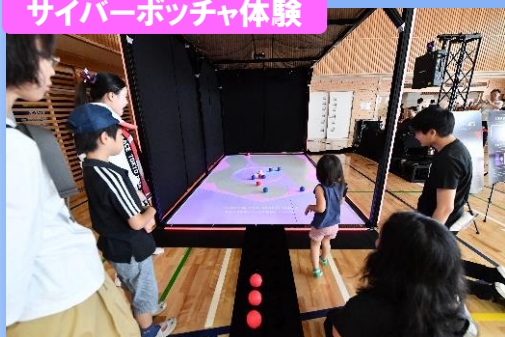


大人のための走り方教室



運動会で役に立つ走り方教室

サイバーボッチャ体験



最新のデジタル技術を用いたサイバーボッチャ体験。視覚効果も手伝って、想像以上に楽しめる内容でした。



エスコートキッズ体験。緊張の面持ち。



プレスキッズ体験。取材だけでなく、新聞の作成も行いました。



非常に多くの方にご来場・ご参加いただきました。1



# ●大会777日前記念イベント ～新宿から世界へ～ベストをめざして夢・チャレンジ!

- ▶第一会場の愛日小学校では、校庭や体育館におけるスポーツ体験のほかに、校舎内にて新宿養護学校によるバスボムづくりやトリックアートのフォトコーナー、食育プログラムなどを行いました。
- ▶また、第二会場の牛込筆筈区民ホールでは、オリンピック・パラリンピアンによる講演会のほか、小中学生による演奏会を行いました。

**斎藤あや子さん講演会**  
(北京2008パラ大会・アーチェリー5位入賞)



**中村真衣さん講演会**  
(シドニー2000大会・競泳銀メダリスト)



バスボムコーナー

形を整えたバスボムをキレイにラッピングして完成です。新宿養護学校の生徒たちが頑張っていました!



小中学生によるコンサート

オリンピック・パラリンピックを戦ってきた選手たちによる講演会。参加者の中には涙する方もいました。



写真を左に90度傾けると、あたかも高跳びをしているように見えます。



トリックアートフォトコーナー

フィナーレ後の様子。多くの方の尽力により、イベントは成功に終わりました。



江戸川小・鶴巻小・四谷小&四谷中・新宿西戸山中によるコンサートの様子。演奏前に児童・生徒たちが東京2020大会に向けた抱負を語るなど、非常に熱い内容のコンサートでした。

# ●古代オリンピックから日本へ 想いをつなぐトーチ展

【日時】平成30年8月29日(水)～9月9日(日) 10時30分～20時

【会場】伊勢丹新宿店 本館7階バンケットルームほか

- ▶新宿区とギリシャのレフカダ市とが友好提携を結んでいることなどから、新宿区・駐日ギリシャ大使館・在日ギリシャ商工会議所により、「古代オリンピックから日本へ 想いをつなぐトーチ展」を開催しました。
- ▶これまでの歴代のオリンピック・パラリンピックの聖火リレーで実際に使われたトーチの数々を展示しました。



同時開催として、朝日新聞報道写真展も開催されました。過去大会の聖火リレーの様子が分かります。



過去大会のトーチが一堂に集められました。そのほか、採火式に使用する道具なども展示されました。



トーチ展の初日にはオープニングセレモニーを行いました。



# ●東京五輪音頭-2020-講習会

- ▶区内5所にて東京五輪音頭講習会を開催しました。開催には、信濃町シニア活動館を拠点に活動している踊りのグループである「しなの会」の皆さんにご協力をいただきました。
- ▶全ての会場に参加された方もいらっしゃるなど、リピーターが多い講習会でした。
- ▶難しい振付でしたが、講習会の最後には、ほとんどの皆さんが踊れるようになっていました。



日時	会場	参加者
6月22日(金)夜	愛日小学校	62名
6月27日(水)夜	戸塚第二小学校	77名
7月 1日(日)昼	四谷小学校	73名
7月 6日(金)夜	柏木小学校	48名
7月11日(水)夜	落合第五小学校	64名
	計	324名



四谷小学校での講習会の様子。最初は少しずつ振りを覚えていき、最後は通して踊ります。振付動画を見ながらなので安心です。



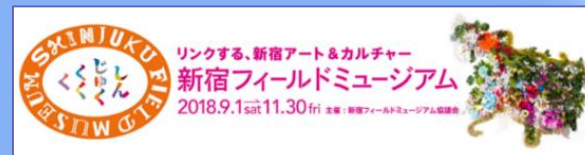
## 【参加者の声】

- ・大変楽しく躍らせていただいた。 ・楽しかった。早く完全に覚えるようになりたい。
- ・みんな楽しそうに踊っていてよかった。オリンピック・パラリンピックが盛り上がる一つの材料だと思う。 ・5回の講習会は少ない。10回はやってほしい。
- ・年内にまた講習会があれば参加したい。教え方が分かりやすくあっという間の1時間でした。
- ・振付が難しい。 ・とても覚えられませんでした。何回も練習が必要です。

# ●新宿フィールドミュージアム

▶新宿のまちでは年間を通して多彩な文化芸術イベントが開催されています。特に9月1日～11月30日の3か月間を「文化月間」として、区内全域で繰り広げられる音楽・美術・演劇・伝統芸能・パフォーマンス・まち歩き・歴史探訪など幅広いジャンルのイベントを集約・発信します。

▶「新宿フィールドミュージアム2018」は、「東京2020公認プログラム」として、新宿の魅力を発信していきます。



## ◇新宿フィールドミュージアム・コアイベント

### 都市型音楽フェス「-shin-音祭」(しんおんさい)

2018年から新たに始まる音楽フェス。複数アーティスト出演のライブや、音楽をテーマにしたワークショップなど大人から子どもまで楽しめるイベントです。

【日時】 10月6日(土) 11時～20時

【出演】 Ovall、環ROY、ミツメ、桑原あいザ・プロジェクト、おとぎ話 ほか

【会場・内容】 新宿文化センターの3会場(大ホール・小ホール・エントランスロビー)でのライブや、各会議室でのワークショップ



桑原あい



Ovall



新宿文化センター

## ◇ライブハウス連携企画

【日時】 10月2日(火)～10月6日(土)

【会場】 新宿LOFT、Jazz Spot J ほか  
ライブハウスが東京23区で最も多い新宿区。各ライブハウスがフィールドミュージアム連携企画を独自に実施します。



## ◇新宿サンクチュアリ

知る人ぞ知る新宿ならではの魅力的な空間、面白い歴史のある場所、あなただけが知っている風景などをサンクチュアリ(聖地)としてピックアップし、発信する「新宿サンクチュアリ」。2020年に向けて、新宿の個性的な「新宿サンクチュアリ」を公募し、公式ウェブサイトやSNSで随時発信します。聖地名にエピソードを添えて、どなたでもご応募できます。

詳細は公式ガイドブック、ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.sfm-shinjuku.jp/>  
ガイドブックは8月下旬から区役所、特別出張所、図書館などで配布しています。



\*公式ガイドブックイメージ

# ●新宿フィールドミュージアム・アクション2020 の制定

## 目標設定と具体的な取組み

行動目標	指標	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	具体的な取組み	行政の役割	
		実績	実績	目標値	目標値	目標値			
プログラム	主催イベントを強化・拡充する	・スタッフラリー ・オープニングイベント ・ワークショップ	・スタッフラリー ・フレイムイベント ・オープニングイベント ・シンポジウム	実施	実施	実施	・コアイベント実施に向けた検討 ・運営部会や企画部会で内容を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政も1プレーヤー</li> <li>・ホームページの整備</li> <li>・チラシ、ガイドブック等作成</li> <li>・規制緩和（施設の夜間利用等）</li> <li>・イベント申込み方法の工夫</li> <li>・ロゴマーク活用及び活用呼びかけ</li> </ul>	
	集客数	783人	1,014人	1,500人	2,000人	3,000人	・主催イベントやコアイベントの工夫		
	さまざまなジャンル・世代に応じたプログラムを構築	プログラム提供数	170本	210本	230本	260本	300本		・量的な拡大とともにジャンルや時間の拡大もはかる ・内容の充実により満足度を高める
期間	開催期間を段階的に拡張する	開催月	10月-11月	10月-11月	9月-11月	7月-11月	7月-11月 情報発信は通年	・期間の拡大と同時に1日の時間を拡大 ・夜間に開催できるように規制緩和や公共施設24時間利用等の検討	
誘導	参加団体数を増加させる	参加団体数	85団体	104団体	110団体	120団体	130団体	・図書館、神社仏閣、民間博物館、ギャラリー、ライブハウス等を取り込む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の役割</li> <li>・SNS等による情報の拡散</li> <li>・ガイドブック等の設置</li> <li>・イベント内容の充実</li> <li>・ボランティアの活用</li> <li>・ロゴマーク活用</li> </ul>
	参加観覧者数を増加させる	参加観覧者数	472,447人	578,110人	60万人	80万人	100万人	・有料イベントと無料イベントを別々にカウントしてデータの整合性をとる ・イベントの申込み方法について、はがきやQRコードなど色々な方法を用意する ・参加者数が増えること、少数でも内容が優れていることの両方で評価する ・個々の団体のボランティア活動の把握及び周知によるボランティア活動の促進 ・各イベントに参加していただき、写真撮影やレポート作成などしていただくとともに、SNS（ツイッター、インスタグラム等）を活用し、情報を拡散してもらう	
	サポーター（ボランティア、モニターなど）の充実	サポーター活動の促進	-	情報収集	試行	活用	活用		
	情報発信の拡大	ガイドブック発行部数	15,000部	15,000部	20,000部	20,000部	20,000部	・期間拡大にあわせて月々のサブガイドブック作成を検討 ・紙媒体だと直接必要な情報プラス周辺の情報が得られる	
		チラシ発行部数	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	・期間拡大にあわせてチラシ回数増やす ・区外や外国人の方向けのインフォメーションセンターにもポスターを掲示	
		ガイドブック設置箇所数	約105か所	約120か所	130か所	140か所	150か所	・若者がたくさんいる専門学校等への設置協力依頼 ・来街者が訪れる施設への設置協力依頼（観光案内拠点、鉄道、大規模小売店、宿泊施設等）	
		ホームページの訪問数	未設定	8,670件	17,000件	32,000件	35,000件	・区がホームページを整備し、各団体にSNS等を活用して拡散してもらう ・文化情報プラットフォーム（文化庁）への登録	
	認知度を高める	区政モニターアンケートの認知度	26.3%				40%	・ロゴマーク、アイコンの活用 ・東京2020参画プログラムへの登録 ・情報提供は紙媒体と電子媒体の両方を利用して認知度を高める	
	情報の多言語化	ガイドブック	日	日	日	日	日	・多言語化の検討	
		ホームページ	日	日	日・英・中・韓	日・英・中・韓	日・英・中・韓	・文化情報プラットフォーム（文化庁）の活用	





# ●今後の予定

## ●ボランティアイベント

【日時】11月3日(土) 【会場】新宿区役所本庁舎5階大会議室(予定)

- ▶大会ボランティア及び都市ボランティア募集を広く周知し、積極的な応募を呼び掛けていくため、過去大会のボランティア経験者やオリンピック等のトークディスカッションを中心としたイベントを実施します。
- ▶同イベントでは、地域のボランティア活動のPRなども行います。



## ●新宿シティドレッシング

- ▶新宿区役所本庁舎等の区施設に大会エンブレム等を用いた装飾を行い、新宿区全域において東京2020オリンピック・パラリンピック開催の気運を高めます。
- ▶新宿区のスポーツ拠点である新宿コズミックスポーツセンターなどに大規模な壁面装飾を行うとともに、その他区施設162所においても、施設出入口等に大会エンブレム等を掲出します。

新宿区役所  
第一分庁舎



新宿区役所本庁舎  
エレベーターホール



## ●東京オリンピック・パラリンピック開催推進会議

- ▶新宿区では、東京オリンピック・パラリンピック開催推進会議を設置し、以下のような大会の開催に伴う課題及び対策等について検討を行っています。

- ・スポーツの振興
- ・ボランティアの育成
- ・観客や会場スタッフ等の輸送 等

